

聖化

Japan Holiness Association

[発行] 日本聖化協力会

2018.4.27
No.63



ブレンゲル著「聖潔のしおり」刊行

救世軍 樋口和光

新訳『聖潔のしおり』を刊行

著者サムエル・ブレンゲルは、アブラハム・リンカーンがアメリカの大統領候補として指名された1860年に生まれました。代表作『聖潔の莖』は、日本では1902年に、山室軍平訳で救世軍出版供給部から出版されました。ブレンゲルの名は、聖潔の教師としてよく知られています。この書は、ケズィック・コンベンションでも、多くの講師から紹介され、推奨されてきました。

以前の書名『聖潔の莖』に対して、『聖潔のしおり』とした理由は、若い人にも読んでいただきたいという願いを込めています。翻訳は、東京若枝教会牧師の飯塚俊雄先生にお願いしました。先生は祈りをもって、分かりやすい言葉で聖潔を伝えるために、多くの時間をかけて完成してくださいました。労作の成果は、読まれる方々に伝わることでしょう。

本書で、まずブレンゲルは聖潔の実体験を紹介しています。ジョン・ウエスレーの『キリスト者の完全』に通ずるものがあります。そして、「聖潔とは何か」を聖書を引用しつつ、聖潔を求める人々の実例を取り挙げ、わかりやすく語っています。

読み始めたら最後まで読みたいという誘惑に駆

られます。しかし、じっくり時間をかけて、神さまと向き合いながら読み進めることをお勧めいたします。

聖潔に関する救世軍の取り組み

現在128の国と地域で活動する救世軍では、各地で今もブレンゲルの名を冠した「ブレンゲル修養会」を定期的に行っています。2017年には、南太平洋および東アジア地域における「ブレンゲル修養会」が韓国において開催され、日本からも参加しました。救世軍広報『ときのこえ』は、装丁も新たに、初夏号(5、6月)から「連載」聖潔の流れに立つ」の掲載が始まりました。この連載は、後日、書籍として出版される予定です。

映画「地の塩 山室軍平」

昨年10月、現代ぶろだくしゅんより、山室軍平の生涯を描いた映画が一般公開されました。東條政利監督は、「聖潔は山室軍平の生涯から外せないでしょう」と言われました。同志社を中退した軍平が、松江のB・F・バックストンを訪ねたとき、祈ってくださったバックストンの姿にも、また救世軍に入隊した軍平が海岸で、いっさいを神に捧げて祈る姿の中にも、転機的な聖潔が描かれています。ぜひ、この映画「地の塩」もご覧ください。

もくじ

- 巻頭言メッセージ…………… p.1
- 「聖化」の継承 神学校の取り組み …… p.2-3
- それは「縄目が解けて」の経験(証し) …… p.4-5
- ハリマン博士紹介、書籍の案内 …… p.6
- 救世軍の書籍紹介、2018年講師 …… p.7
- 今年の聖化大会日程、編集後記 …… p.8

神学校の取り組み

と、それに基づくパネル・ディスカッションでした。「聖化」の継承のためには大切なテーマでしたので、毎号2校ずつ神学校の「聖化」の取り組みを連載し、紹介していきます。



ウェスレアン・ホーリネス神学院

学院長 山崎 忍

キリストを見せる生き方を

ウェスレアン・ホーリネス神学院は、今年創立30周年を迎えました。3年前、長きにわたって学院長を務めた黒木安信師の召天後、本間義信師が引き継ぎ、本年4月よりわたしがその任務を引き継ぎ、新たな歩みを始めたところで、聖化の継承という点で、創立以来、本神学院が変わることなく取り組んでいることは、ホーリネスの生活化です。主に身も心もささげた者が、自分の握っているものを完全に手放し、神の全き愛で満たされ遣わされていくために、神学生は全寮制の中、自我がぶつかり、砕かれつつ、聖めの恵みにあずかっていきます。このことを伝統的に「イモ洗い」と表現します。泥のついたイモが、水の中でぶつかりながらきれいになっていくように、学生の自我が砕かれ聖なる者とされ整えられていくのです。

また、主にささげられた器は自分が得意だと思っていることを一度主イエスにあずけるように指導します。そして、自分の不得意なことに率先して取り組むように指導します。そのことによって、神が用いやすい器へと変えられていくのです。そして神に用いられやすい器こそ、いうまでもなく聖められた器です。

主イエスは、「人の子は仕えられるためではなく仕えるために、また、多くの人の身代金として自分の命を献げるために来たのである」(マルコ一〇・45)と言われました。神学院では、神と人に徹底的に仕えていく伝道者を育成することを目標としています。黒木前学院長は、服従について以下のことを述べています。

*

この訓練を通して各々が変革されていくとき、「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて神がわたしたちに望んでおられることです。」(一テサロニケ五・16、18)という御言葉のように、神の御心に適った伝道者として、仕える者として遣わされていくのである。

そして、そのような器に変革された者が、キリストを見ることができると指導している。使徒パウロは「そして、どんなことにも恥をかかず、これまでのように今も、生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストが公然とあがめられるようにと切に願い、希望しています。」(フィリピ一・20)と述べている。

*

現代において、キリストについて語る者が多くとも、キリストを見せるクリスチャンがどれだけいるでしょうか。「伝道者たるものは、キリストを語ると共に、キリストを見せる者であれ。」これこそが、本神学院が教師も学生も一丸となって学び、実践しようと取り組んでいることです。

特集 「聖化」の継承

昨年3月6日の日本聖化協力会評議員会の折りに第一回「聖化フォーラム」が行われました。各神学校で聖化をどのように教えているかのプレゼンテーション



東京聖書学校 ホーリネス信仰を明確に

副校長 大友 英樹

1 本校の特色

本校の特色は日本キリスト教団にあるホーリネスの群の神学校であるが、もう一面は日本キリスト教団の認可神学校であること。この点が教派神学校とは相違するところで、そのため、神学生もホーリネスの群の教会出身者もあれば、他の伝統にある教団の教会出身者もいる。教団認可神学校であるゆえに、教団の教師としての神学レベルが求められ、それに見合ったカリキュラムが組まれている。ちなみに教団教師検定試験は次の17科目が課せられるが、認可神学校はこれらの科目が網羅される前提で試験科目が大幅に免除されている（本校の場合には6科目のみ）。

旧約歴史・旧約聖書緒論・旧約聖書神学・旧約聖書釈義・新約聖書緒論
旧約聖書神学・旧約聖書釈義・ギリシア語・組織神学・説教・教会法・牧会学・宗教教育・教会史・教理史・一般宗教史・日本宗教史

2 聖化関連の科目

前記の科目を網羅しつつ、その中で聖化関連では下記の科目がある（教科書は2017年度に使用の書籍）。

・ホーリネス特講（ホーリネス教理入門）

門）↓「聖潔の菜」

・ホーリネス特講（ホーリネス史）
↓「ホーリネスの群略史」
・実践神学特講（ホーリネスの群論）
↓「ホーリネスの群略史」
『ホーリネスの流れ』
・ウエスレー神学 ↓ 「ウエスレーの神学」
・組織神学 ↓ 「キリスト教神学概論」（ワイレ）

3 教室以外での聖化教育

・夏期伝道を終えて、その報告と共に、霊的修養のときとして2泊3日の退修会を開催している。霊修のテキストとしては、2017年度は「救霊の動力」を取り上げた。

・教理的な学びと平行して、各種の聖会への参加をして、体験的な聖化の経験を目指している。

4 聖化教育の課題

・本校の場合は、学生の背景は必ずしもホーリネス信仰の教会から入学するわけではない。聖化を聞いたこともない学生もいる。しかしその反面、聖化というものを白紙の状態で学び、その必要性を自覚して、ホーリネス信仰に立って伝道者となっていくという面がある。

ある。このことはマイナス面よりもプラス面として積極的に受けとめている。聖化の教理的理解にあつて、科目の中で「ホーリネス特講」「ウエスレー神学」「組織神学」がその役割を果たすが、十八世紀のウエスレーの聖化理解、十九世紀の北米ホーリネス運動、二十世紀の組織神学の中に相違があるため、学生の中にその理解がでず混雑を生じる場合がある。教師の側での丁寧な指導が求められる課題である。

・教団認可神学校として教師検定試験の合格レベルの神学理解が求められ、現代の聖書学の学問的な状況を踏まえつつ、その中で聖書信仰に立つということが重大な課題である。聖化との関係でいえば、御言葉によってきよめられるという聖書信仰による聖化体験という面を保持しなければならない。

・やがて神学生は教団の教会、多くはホーリネスの群に派遣されていくが、教団の教会であるゆえに、様々な教派的背景をもつ信徒たちが転入してくる。聖化教育はこうした教会に派遣されて、教会の信仰伝統であるホーリネスを明確として教会形成に仕えるだけの伝道者を育てる課題がある。

「すると王は言った。『だが、私には、火の中を繩を解かれて歩いていく四人の者が見える。しかも彼らは何の害も受けていない。第四の者の姿は神々の子のようなのだ。』」

(ダニエル書三・25新改訳2017)

私のきよめの恵みはまさに「第二の転機」でした。第一の転機は、中学3年生が終わった時でした。両親は教会の役員として、信仰熱心でした。私は6人兄弟の3番目でした。比較的素直な性格で、小学1年生の頃から文語訳聖書を全部読みたいという健気な気持ちでいました。終戦直後の社会環境に育ちましたので、学校では戦没者への敬意などが重んじられていました。時には忠霊塔に遠足して、全員で深く礼をする時もありました。そういう時は、偶像礼拝を避ける気持ちで、子どもながら必死の抵抗をしました。

5年生の頃、転校生が近所に越してきました。担任の先生から頼まれて、彼を誘って一緒に登下校しました。ある日、通学路に文房具店が開店しました。彼は人懐っこく店に寄って、おばさんとも顔なじみになりました。私は毎日彼と一緒に、登下校途中に店に寄りました。ところが、店を出ると彼はいつも何も買わなかった苦なのにかか持っているのです。

ある日、彼がおばさんの目を盗んで何かをポケットに滑り込ませた現場を見つけました。その途端、何を言ったらよいか戸惑っていると、彼は「お前もやってみろ」と誘ったのです。瞬間、善悪を考える間もなく鉛筆のサックを自分のポケットに入れたのです。その瞬間のスリルの味は、初めて知った「悪の快感」でした。その日以来、

きよめの証し

それは「繩目が解けた」の経験



インマヌエル恵庭キリスト教会 牧師

小田 満

私の心は、悪と知りつつ悪に惹かれる快感の虜になりました。この悪の快感からは簡単に逃れられませんでした。彼と登校すると必ず同じ文房具店に立ち寄ります。彼に注意することもできず、反って彼と一緒に悪習慣を繰り返す、次第に悪行に慣れるようになり、自分ひとりの時も、必要はなくても立ち寄って、何かを持って出るようになりました。悪習慣の依存症となってしまいました。

幼い頃から、聖書を教えられ、偶像崇拜には小さな抵抗を示していた者でしたのに、悪行を止められない自分の心は、ひとりになると良心の呵責で悔やみ苦しみました。六畳間に兄弟で布団を並べて寝るのですが、みんなが寝静まると、神様の赦しを願ってひとり起上がって、「ボクの罪を赦して下さい」と祈っては、「もう二度としない」と決心するのです。ところが、翌日、また、同じことを繰り返してしまうのです。中学校に進学したとき、通学路は全く別の道でした。その時、どれ程、「ホツとした」気持ちであつたか表現できません。

中学2年生の10月、婦人伝道者の先生がご来訪くださり、「満さんは洗礼を受けませんか」と言われました。教会の集会には朝に夕に出席していましたが、多くの方々から救いの証しを聞きました。皆さんは、「洗礼を受けて救われました」と言っておられましたので、洗礼を受けたら、自分の罪は赦されると思えました。そこで、先生の勧めに従って洗礼を受けることにしました。すると、先生は「満さんは、罪はありませんわね。」と言われたのです。一瞬戸惑いましたが、「はい。」と答えてしまいました。こうして、10月末の洗礼式に加えて頂きま

した。しかし、洗礼を受けたにもかかわらず、毎日、自分の良心は私を責め立てるのです。

一年半後、中学を卒業して高校入学の直前教会で「復活節聖会」がもたれました。親の勧めで、夜の聖会に出席しました。終わったら直ぐに帰ろうと、200名ほどの会堂の最後尾の席に、人影に隠れるように座りました。説教の締めくりに牧師先生は「洗礼は受けたが、心に平安の無い人は手を上げてください」と言われたのです。心を扶たすられました。躊躇ちゆうちゆうしていると教本の手が上がりましたので、自分も手を上げました。すると、その人は立つようにといわれるのです。仕方なく立ちました。

その晩の帰りの電車は悔改めと決心の恵みの座でした。帰宅後、母にお詫びしました。翌日、かつての文房具店を訪ね、おばさん呼び出し、持っていた小遣いをはたいてお詫びしました。すると、心は半分平安になりました。しかし、「母も、おばさんも赦してくれただけ、どうしたら神さまに赦していただけるだろうか」と、店を出て天を仰ぎました。すると、「イエスさまの十字架の血潮によって赦します」という神さまのみ心を感じるような気がしました。天を仰ぐと、どんよりした雲の切れ間から太陽の光が差し込んでいました。その時、神さまはイエスさまの十字架の贖いによって私の罪を赦し、私は救いに与ったという確信で心が一杯になりました。その時のうれしさは、どう表現してよいか分かりません。その日が、私の第一の転機となりました。

高校3年生のある日、「我らはみなその証人なり」（使徒二・32）のみことばが、心に留まりました。イエスさ



まの復活の証人という意味ですが、私の召命のみことばとなりました。こうして大学卒業後、インマヌエル聖宣神学院に入学を許され、直接献身の道に導かれました。神学院の生活は聖書を学び、訓練をうける毎日はとても忙しいのですが、天国のように思われました。ところが青年期を過ごす年齢であった自分は、自分の心の手綱が肉の心で操さつられていることに気が付きました。時々、無性に世のことに関心を奪われ肉欲にとらわれるのです。聖書とイエス様に従うことに夢中になりたいのですが、「肉に従う者は肉的なことをもっぱら考え」（ローマ八・5）、神を喜ばすことはできず、自分の魂に満足がないのです。そこで、聖書通読と学院の訓練に専念し、世につくことは一切「見ざる、聞かざる、言わざる」とすることにしました。こうしてひと月を過ごしたころ、神学生全員が奉仕していた教会で祈禱会の会場準備が終わわり、集会までのひと休みの間、聖書通読をしていました。ダニエル書を読んでいましたら、バビロンに捕虜にされた3人の青年が、火の炉の中に投げ込まれましたが、炉の中で縄目が解けて歩いているというところを読みました。文語訳聖書で「彼らの縄目解けて」と読んだ瞬間、自分の身体から縄目が解けてパラパラと落ち、自分が自由になった感覚がしました。その日以来、御霊に従う自由を与えられました。私の第二の転機でありました。50余年の伝道者の奉仕を振りかえると、未だに未熟で多くの先生方の手足まといとなるが多かったと思いますが、今後も「イエス・キリストの復活の証人」として、きよめの道を歩ませて頂きたく願っております。

2019年秋の聖化大会 講師ご紹介

ヒューバート・ハリマン博士

Dr. Hubert Hariman

ヒューバート・ハリマン博士は、宣教師であったご両親の任地、ポリアで誕生されました。10歳のときに、召命のみ声を聞き、宣教師を旨とすることになります。ベナード大学、エルサレム大学、インディアナ州のアンダーソン神学校で学びました。

宣教師としてアルゼンチンで奉仕したのち、インディアナ州で26年間牧会に携わります。その間に、WGMとの繋がりを持つようになり、南米やアフリカでの宣教・伝道の働きに関わり、青年たちのチームと共に奉仕されました。

2002年から2016年まで14年間、WGMの総理として重責を担われました。この間にWGMの改革を積極的に進め、大きな成果を収めました。このことによって、宣教師はもちろんのこと、エグゼクティブチーム、サポートスタッフに至るまで、WGMが一体となって宣教を推進することが可能になりました。「神さまがこのチームを一つにしてください」は、博士の感謝の祈りです。

博士は世界中の宣教地を訪問し、現地の諸教会、聖会、青少年のキャンプ、セミナー、リトリート、会議などでメインスピーカーを務められました。博士のモットーは、次のみことばに表されています。「働いたのは私ではなく、私とともにあった神の恵みなのです。」

ご家庭は、奥様のサラ夫人と、3人のお子さまがおられます。すでに、それぞれ立場で活躍しておられます。

博士の現在のお立場は、WGMの Ambassador at Large です。



.....

続々と、電子書籍化を進めます！ Amazon Kindle ストアで発売中です



電子書籍化第一弾、「エマオの道で」を販売中です。昨年刊行された「聖化の説教 旧約編I」「聖化の説教 旧約編II」「聖化の説教 新約編」もすでに電子書籍として販売しています。Amazon Kindle ストアで検索してください。

JHA 創立 30 周年を記念する画期的な刊行事業！

聖化の説教 全3巻 (旧約編2巻、新約編1巻)



旧約編 I
定価 1,500 円＋税

創世記からエステル記まで、聖書の英雄的な行動や惨めな失敗、信仰の輝きが…。



旧約編 II
定価 1,500 円＋税

ヨブ記からマラキ書まで、知恵文学、詩歌、預言者によって語り継がれた聖化の恵み。



新約編
定価 1,800 円＋税

新約聖書の各巻から25の説教で聖化の恵みに触れることができる待望の説教集。

直次郎 かまびすしい



主の細きみ声が聞こえなかった ©富無尽蔵

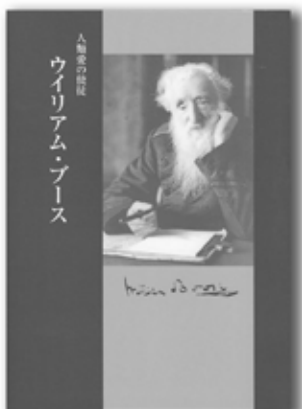
救世軍出版供給部の本を紹介します
私たちの信仰のDNAとなっている名著

新訳 聖潔のしおり

注文は救世軍の
ホームページをご
覧ください。



古典的名著であり、聖潔の生きた証しとして、現代も読まれなければならない必読の書です。本書の至る所にブレングル自身の証しが記されています。「ボストンの公園をあまりのうれしさに涙を流し、神を賛美しながら歩き回りました。」ホーリネス運動を押し進める霊的資源ともなった本書が、飯塚俊雄先生の訳で輝きを増しています。



救世軍の創始者、ウィリアム・ブラスの伝記です。巻末に講演記録が収められています。著者は山室軍平のご子息、山室武甫氏です。副題に「人類愛の使徒」とあるように、ブラスが息子に命じた「行って何かをするように」が、救世軍の働きのスピリットとなりました。社会事業を支えた信仰が、どこから来たのかを学ぶことができます。

2018年秋の聖化大会 講師は私たちの中から

日本の講師で行う聖化大会 地域の特徴を生かした大会に



昨年は宗教改革500年を記念するさまざまなイベントが行われました。そうした中で、私たちはダイアン・レクラーク先生をお迎えして、歴史神学的な視点から、深い学びをしました。教会歴史に流れる宗教改革、プロテスタントの伝統、そして敬虔主義や信仰復興運動の息吹、私たちホーリネスの系譜とその特徴や立場を確認することができました。

今年のご案内のとおり、外来の講師をお招きせず、私たちの仲間である日本人の講師によって聖化の説教を語っていただくことになっています。すでに各地の交友会では、今年の講師が発表されています。8ページの各地の聖会一覧をご覧ください。私たちの周りには素晴らしい説教者が揃っています。日本のクリスチャンの弱点や欠けをよく知って、そこにとどのような聖霊の御業がなされるか、身近な器ならではの行き届いたメッセージを期待したいと思います。

2018年に開催される各地の聖化大会

大会名	期日	講師
北海道聖化大会	5/15~16	竿代照夫師
宮城聖化大会	9/17	島 隆三師
山形聖化大会	9/14	水間照弥師
栃木聖化大会	5/27	山崎 忍師
関東春の青年大会	5/27	進藤龍也師
関東聖化大会	10/14~16	石田 学師
東海聖会	6/23~24	藤本 満師
東海聖化大会	10/20~21	青年大会/内山 勝師
遠州聖会	2/11	深谷春男師
ウェスレーに学ぶ会	5/22	石田 学師、摂子師
ウェスレーに学ぶ会	10/19	学ぶ会の役員が担当
備前聖化大会	10/21	田代幸雄師
四国聖化大会	5/27	松沢力男師
九州聖化大会	未定	未定

* 聖化大会についての詳細は、日本聖化協会のホームページ、Facebook、Twitter をご覧ください。各地域の聖化交友会のご案内が掲載されています。http://jha.christ.gr.jp/

News

日本福音連盟 (JEF) 山陰大会・総会のお知らせ

6月17日(日)夜~19日(火)午前。松江市の日本ナザレン団松江教会・日本聖公会松江キリスト教会が会場。聖会やセミナーが予定されています。ぜひご参加ください。

お近くの聖化交友会にご加入ください

聖化交友会には教団、教会、個人でお加わりいただけます。聖化の恵みを私たちの心に、そして教会に、さらにお住まいの地域に広げていきましょう。詳細は各地域の聖化交友会にお問い合わせください。

北海道聖化交友会／宮城聖化交友会／山形聖化交友会／栃木聖化交友会／関東聖化交友会／東海聖化交友会／ジョン・ウェスレーに学ぶ会／岡山聖化交友会／四国聖化交友会／九州聖化交友会

じっくりと聖書を学ぶために

365日の霊想 デニス・F・キンロー著

エマオの道で

世界でも屈指の説教者であったデニス・キンロー博士の著書です。365日の恵みが満載です。短い聖句が取り上げられ、歴史的なエピソードや著者の体験、聖書の物語など、霊想が綴られています。

定価3400円+税



編集後記

聖化 63 号をお届けします。巻頭言は救世軍の樋口和光先生に書いていただきました。折しも、救世軍出版供給部から、飯塚俊雄先生の新訳で「聖潔のしおり」が刊行されました。以前は名著でありながら古い文体で、読むのに苦戦したなつかしい思い出があります。今回はさわやかな

水色の装幀で、魅力を増したような気がします。昨年は、宗教改革 500 年の記念の年に相応しいレクラーク博士のご講演をお聞きました。とても刺激的な学びの機会でした。今年の聖会は外来の講師ではなく、身近な先生をお迎えします。それもまたすばらしい恵みの機会です。(矢木良雄)

聖化 No.63 2018年4月27日発行